

まめなかの

発行責任者

隠岐広域連合立
隠岐病院長

西郷町城北町355

糖尿病網膜症を中心に

隠岐病院眼科部長

濱橋 孝寿



こんにちは。今回は糖尿病網膜症(以下網膜症)を中心にお話してみたいと思います。まず下記のデータを見てください。このデータは私が四月に赴任してから十月までの眼科手術をまとめたものです。

- 1, 実際にメスを使うもの (計98例)
 - ・ 白内障手術 (80例)
 - ・ 白内障以外の眼内手術 (2例)
 - ・ 眼外手術 (15例)
 - ・ 緑内障手術 (1例)
- 2, レーザーというメスを使うもの (計113例)
 - ・ 網膜症に対して (48例)
 - ・ 網膜血管閉塞症に対して (43例)
 - ・ 後発白内障に対して (11例)
 - ・ 緑内障に対して (7例)
 - ・ 網膜剥離に対して (4例)

以上の様に約半数の方はレーザーにて手術を行っている訳で、実際にメスを持つまでにいかなうようにするレーザーの重要性がわかっていただけたらと思います。それではレーザー治療の中心で最も多い網膜症について述べてみたいと思います。糖尿病患者は現在五〇〇万人以上いるといわれており、その数は増加しています。糖尿病は全身に合併症を引き起こし、三大合併症は「網膜症」「腎症」「神経症」であり失明原因の第一位である網膜症の重要性がわかっていただけだと思います。網膜症とは、目の奥にカメラのフィルムにあたる網膜という重要な膜があり、この網膜に酸素や栄養が不足して眼底出血、網膜剥離等を起こした病態をいいます。この酸素や栄養不足の原因は、粘性の高



い血液による毛細血管の閉塞などのために起こります。その他糖尿病による目の合併症として白内障、血管新生緑内障等があります。網膜症はその進行過程に従い単純、前増殖、増殖の三段階に分けられます。(個々の病態の説明はここでは割愛させていただきます)

初期の段階ではほとんどの患者さんに自覚症状(視力低下等)が現れないことから眼科を受診せず自覚症状が現れてからでは手遅れになるケースが少なくありません。従って糖尿病と診断されたら必ず眼科を受診してください。網膜症は本人が気付かないうちに進行する病気で、一般に糖尿病を発症して約十年で約半数の患者さんが網膜症を合併しているといわれます。したがって血糖の内科的コントロールだけでなく、たとえ内科的コントロールはうまくいっていても眼科受診の重要な事が改めてわかっていただけたらと思います。眼科受診の目安としては以下の様に行っております。

- 網膜症のない人は半年に一度
- 単純網膜症の人は三ヶ月に一度

- 前増殖網膜症の人は一ヶ月に一度
- 増殖網膜症の人は二週間から一ヶ月に一度

網膜症になったら必ず失明するのかもしれないと思いがちですが適切な受診と治療が行われれば決して恐ろしい病気ではないのです。網膜症の治療は以下の様な基準を元に行っております。

- 単純網膜症、内科的な血糖のコントロールを治療の第一とする
- 前増殖網膜症、最初の方で述べた新生血管の発症を防ぐためのレーザー治療
- 増殖網膜症、ここまで進行するとレーザー治療では難しく、実際にメスを使っての硝子体手術が必要になります。ただ、硝子体手術によりかなりの視力回復が得られますが完全な視力の回復は難しい状態です。

以上糖尿病網膜症を中心に話しましたが、気になる事がありましたら御相談下さい。最後に、片目ずつで物を見てみてください。左右差があることは通常はあまりありません。もしあるようでしたら糖尿病に限らず注意が必要だと思います。



職場紹介

整形外科編

朝、早くから外来の待合室にたくさんの方が待っておられ、私達看護婦を見つけては、朝の挨拶と同時にいろいろ訪ねてこられます。そんな中、「今日も一日忙しそう。笑顔で頑張らなきゃ。」と思いつつ八時三十分になり窓口受付・処置外来の診察が始まります。

以前にもこの誌面で紹介させてもらいましたが、処置外来は傷の消毒・ガーゼの交換・医師が行う注射（肩・腰・膝等）等です。診察日ではない医師が担当し集中的に診ます。現在は予約制になり、再診の方（予約の方）は待ち時間が軽減されています。

初めて受診される方、予約をされていない方が大勢おられる場合、待ち時間がとても長く感じられると思います。予約をとられた時は忘れないように診察をお受けください。

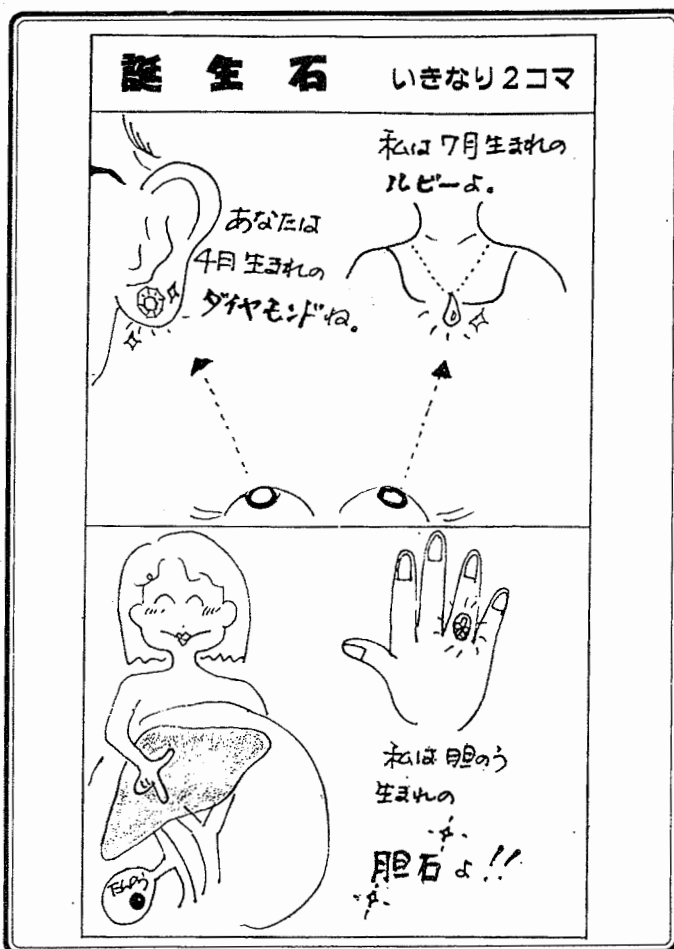


診察中は、時々医師の変な隠岐弁が聞かれ、緊張が解け聞きづらいこともスツとでて、心の交流がスムーズになられたことはありませんか？医師曰く、「看護婦の方がよっぽど変な隠岐弁」だとか。隠岐弁だけではあ

りません。時折威勢のいい関西弁も聞けますよ。勝手に私達はヤングと思っていますが、中でも特にヤングナースは関西出身なのです。さて、診察の結果、適切な装具を勧められた方は毎月第一・

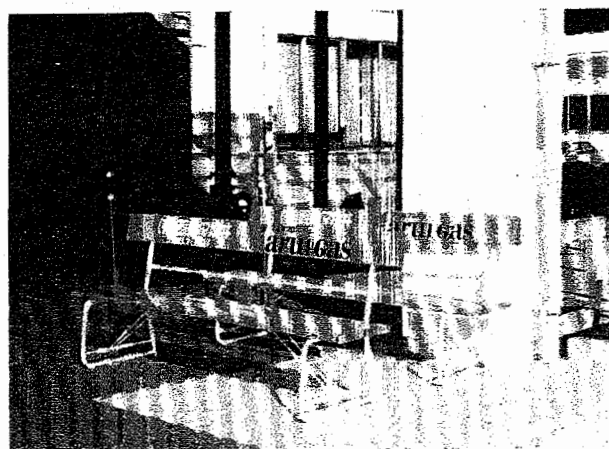
第三金曜日に松江から業者の方が来院し、ギプスで型採りをし、装具を作ってくれます。その折、十一時三〇分〜二時迄に来られるようにお願いしているのは、業者の方がフェリーを使っで日帰りをするからです。後の支払いのことはその都度遠慮なくお聞きください。骨粗鬆症の検査予約も整形外科で行っています。検査は毎週木曜日の午後一時よりレントゲン室にて行っています。検査終了後は診察はありませんが、次の診察の予約をしてからお帰りください。毎日煩雑の中にも、充分な説明・接遇に心しているつもりですが時折、テンションが高くなりご指摘を受けることもあります。誌面をお借りしてお詫び申し上げます。その都度前向きに捕まえ、質の向上に努めます。診察室のスペースの問題と関連してプライバシーの確保の問題等いろいろな課題はありますが、皆さんが安心して診察を受けられますようにとできる限りの配慮を心掛けています。また、地域に根差した医療の一環としてスタッフ一同肝に銘じ、頑張っていますので今後ともよろしくお願いたします。

整形スタッフ一同



さる九月、西郷町栄町の「有限会社 西郷マル井」様より、病院前バスの待ち合用に「長イス」を四脚寄贈していただきました。この長イスは、患者様・お見舞いなどの皆様のバス待ち合に大変喜ばれていました。どうもありがとうございます。皆様もどうぞご利用ください。

寄贈ありがとうございます
うございます



院内改修工事のお知らせ

救急外来前トイレ

老朽化しご不便をおかけしていた救急外来前トイレが12月上旬から2月中旬までの約2ヶ月間改修工事にはいります。工事期間中は透析室前・裏玄関前のトイレをご使用くださるようお願いいたします。新しいトイレは体の不自由な方のトイレを併設し、自動水洗、洗浄機能付になります。

一般用エレベーター

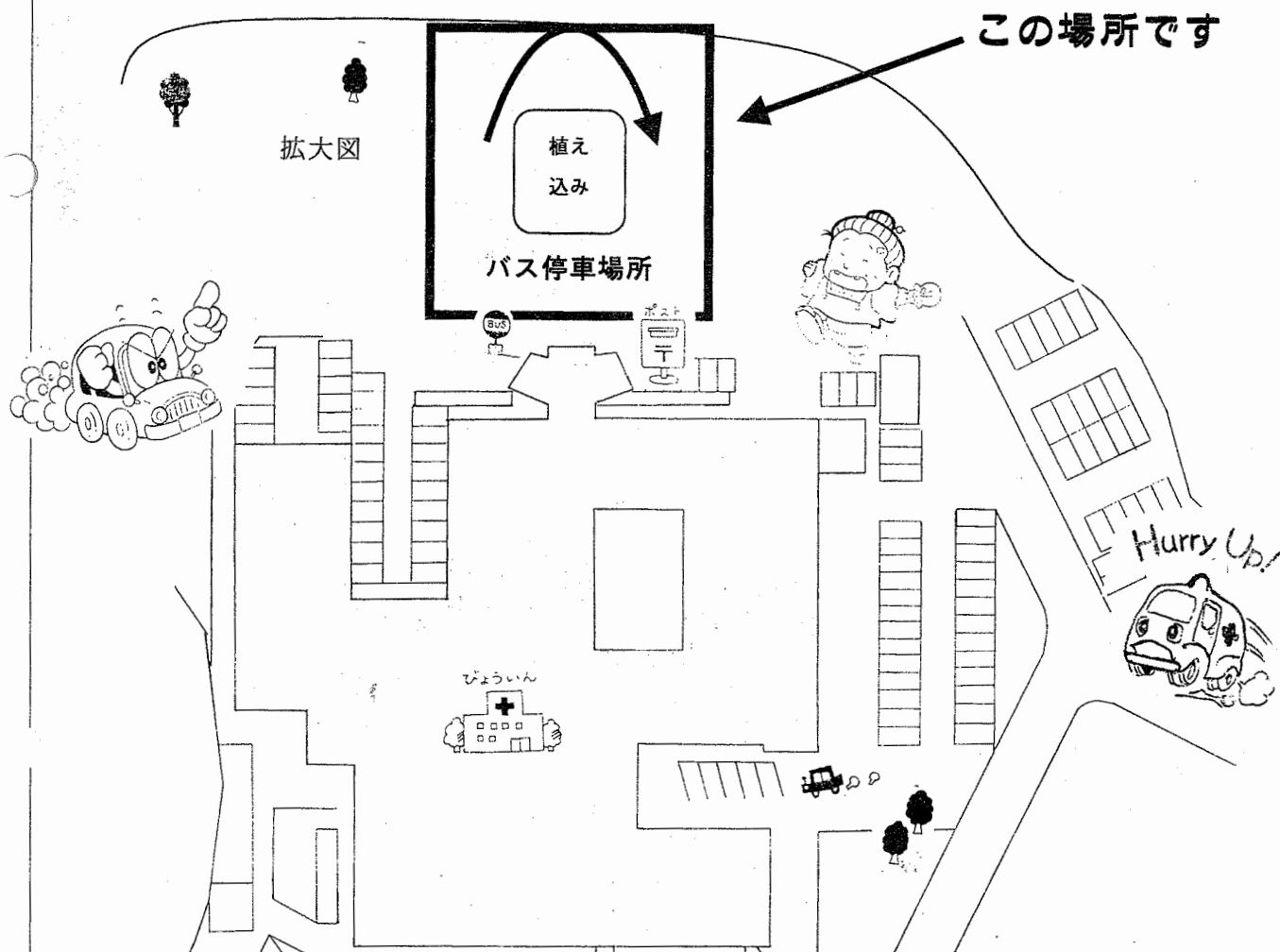
11月下旬から約1ヵ月間一般用エレベーターが改修工事のため使用できなくなります。工事期間中は右側の寝台用エレベーターをご使用くださるようお願いいたします。患者さま、ご高齢の方、体の不自由な方の優先使用、また混雑緩和のため、健康な方はできるだけ中央階段をご利用くださいますようお願いいたします。

2件の改修工事は共に工事期間が長期にわたり、患者さま、面会の方々にはご迷惑、ご不便をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。

正面バス停について

かさねてお願い!!

病院正面玄関前のバス停は、島後地区の全路線が経由いたします。バス路線の妨げにならないよう病院へお越しの患者さんは下記の斜線部分には絶対に駐車しないようにご協力をお願いいたします。また、降雨時の乗り降りには、玄関横の屋根付降車場をご利用ください。よろしくお願いいたします。



退

職 十月一

*中西 梨恵(調理員)

採

用 十一月一

*大野 静香(臨時調理員)

あとがき

マルチメディアと言う言葉が使われて久しい昨今、ワープロやパソコンが家電製品のようになりつつあり、ご家庭をお持ちの方も多いのではないでしょうか? ▼この「まめなかの」も、それらを駆使しながら読みやすいものを目指しています。▼しかし、時にはとんでもない誤変換が出てくることもあります。例えば、「要介護老人」が「溶解ご老人」と出たり、「デジカメ」が「出痔亀」となったり、はたまた、「おやじギャグ」が「おや自虐」、「てんとう虫のサンバ」が「転倒無視の三婆」などなど。▼やっぱり日本語は難しいなんて思ったりします。と同時に誤植の無いよう気をつけたいと思います。皆さんこんな経験無いですか?

「熱い抱擁」が「暑い法要」のM